



寒河江校だより 第4号 2023年7月18日

寒河江校が開校して9年がたちました

平成26年に楯岡特別支援学校の分校として寒河江校が誕生して9年がたちました。開校初年度、二人の子ども達からスタートした学校も今年度は13人の子ども達が学ぶ学校に大きく成長しました。高松小学校の子ども達とともに、日々、体をたくさん動かし、たくさんの笑顔で全員が過ごしています。7月の創立記念の日、各学級では、誕生日カードを作ったり、いつも以上に掃除をしたりして学校の誕生日をお祝いしました。これからも子ども達の成長とともに、たくさんの「チャレンジ」と「関わり」を楽しむことができる学校として、大きく大きく成長していきたいと思います。



校舎内の様々な場所に、アート作品がいっぱい



毎日暑い日が続いていますが、まだ梅雨の最中ようです。梅雨といえば、どうしても灰色の空と少し薄暗い室内をイメージしてしまいます。しかし、寒河江校の玄関、教室、廊下は違います。雨の中でも

差し込む太陽の光が作り出す様々なきれいな色を、子ども達がとても素直な気持ちで、色とりどりの素材を使って作品のなかに自由に表現しています。



児童会活動「セタ集会」 みんなの願いが、かないますように

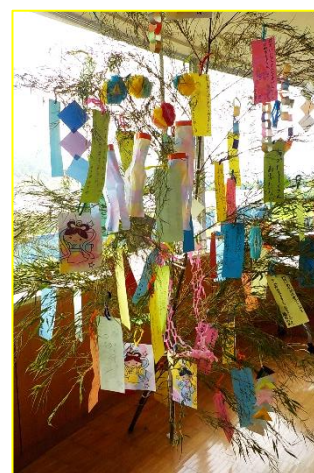


児童会役員の5年6年の二名が中心となってセタ集会を行いました。事前に、近所の工藤さんの竹林に4年生以上の児童が出向き、竹の伐採から運搬までを全員で協力して行い、とても立派な竹を二



本いただきました。寒河江校だけでなく、高松小学校の1年2年生にも呼び掛けて短冊を書いてもらいました。

集会では短冊に書い



た願い事を一人ずつみんなの前で発表しました。「ばすのうんてんしゅさんになりたいです」「にんじゃになりたいです」「プールにいっぱいはいりたいです」などなどです。一人一人の願いがたくさん詰まった沢山の願い事が笹竹を、とてもにぎやかに飾っています。

今年も「つるり里芋」すくすく育っています。

5月に JA 西村山さんからいただき、みんなで協力して畑に植えた「つるり里芋」の苗。例年にない強い日差しや雨の影響により、幾度となく枯れてしまうピンチを迎えました。しかし、みんなの日々の世話のおかげで奇跡的に持ちなおし、今では大きく元気に成長しています。このまま成長して、10月に行う芋煮会では、お世話になっている方々に、おいしいも煮を出したいです。

